

「龍使いに」なれる本

人生を決めるあなたの魂は5つに分かれている

(175)

普通、魂なんて見たことはありませんね。

それを整えるなんてこと、できるのでしょいか？

はい、できます。それも、簡単に。

じつは、魂というエンジンには5種類あります。そう、魂ってひとつではないのです。

古神道の世界では、私たちの魂は「一霊四魂」の5つに分かれていると考えます。

「一霊」が直霊。

「四魂」が荒魂・和魂・幸魂・奇魂となります。

この一霊四魂がすべて合わさったもの。それを、私たちは普段「魂」と呼んでいるのです。

5種類の魂が快調で、それぞれの役割を果たしていると、

あなたの人生は順調に進みます。人生の流れがスッキリ見渡せ、毎日が安定して、人間関係も良好。やりたいことを行動に移し、願望も現実化しやすくなります。

エンジンの調子がいいと快適なドライブになり、いい走りができるのと同じですね。

でも、もしエンジントラブルが起き、その役割を果たすことができなくなると、あなたという車の動きや走りに不具合が起きやすくなります。

進むべき道を見失う、幸せが感じられなくなる、自分の軸

がブレてしまう、人間関係がうまくいかなくなる、やる気も行動力もなくなる。そんな状態になってしまいます。

では、それぞれどんな役割をもっているのでしょうか。

次のような役割です。

直霊……人間の核になる部分。自分という人間の本質であり、

究極の「自分自身」ともいえます。ハイヤーセルフ

(高次の自分)、無意識とも呼ばれる部分です。

荒魂……願いをかなえ物事を具現化します。

和魂……周囲と調和し、バランスを取ります。

幸魂……日常の中で幸福を感じられるようにしてくれます。

奇魂……神様からのメッセージを受け取ります。

さらに、四魂からくわしくお話ししましょう。

四魂はすべて体の表面の手で触れられる場所にあります。

四魂の場所と性質は、次の通りです。

荒魂……【肩甲骨の間】荒魂がきちんと働いていると、御神

気をたっぷり受け取ることができるので、神様の

後押しを得やすくなります。また、やるべきことや、

自分を生かす道がわかるようになります。行動力を

発揮して、自分の思いが現実世界で目に見える形に

します。

和魂……【下腹・丹田】(丹田は、ヘソ下にあり気功や東洋医

学で気が集まるといわれる場所)すべてのものと調

和する働きをサポートします。仕事とプライベート、

女性性と男性性、上半身と下半身などさまざまなもののバランスを取ってくれます。

幸魂……【胸の正面中央】対人関係やコミュニケーション能力を司り、幸せな日々を送るためのサポートをする魂です。

奇魂……【眉間】インスピレーションや直感を司り、生きる上でどんな情報を取り入れるか判断します。人生を照らすヘッドライトのような役割をもっています。

そして、直霊は四魂に囲まれた体の内側にあります。胸正面にある幸魂と肩甲骨の間にある荒魂を結んだ線の中央にあります。

天命を生きると龍が関わってくる

「天命を生きたい」と人が願ったら、あるいは、天命を生きはじめたら、龍が関わりはじめます。

それが「世のため、人のため、自分（龍）のため」になり、あなたの成長につながるからです。

まず、天命とはどんなものかについてくわしくお話ししましょう。

きつとあなたがいま思っている「天命」とは、まったく違うということがわかっていただけだと思います。そして、あなたという人間についても、より理解が深まるはずですよ。

天命に大きく関わるのが、一霊四魂です。直霊に、天命が書き込んであるというお話しはすでにしました。

この直霊は、「分け魂みたま」とも呼ばれます。

直霊が誕生するときに、複数の神様からそれぞれの「魂」を分けてもらうからです。何柱の神様から魂をもらうかは人によって違いますが、平均10柱くらいだと思ってください。

なぜ、神様はわざわざ人間に魂を分けてくださるのだと思いますか？

それは、この三次元に神様の力を表し、人間とともに栄えていくためです。龍は私たちがこの目的を果たせるようにサポートしてくれます。

人間が神様の力を借りて、「世のため、人のため、自分のために」生きると、神様にもいいエネルギーがどんどん届きます。これは、神様自身を生かすことにつながります。それで神様は、人間に魂を与え、力を貸し与えてくださるのです。

龍と同じように、神様にもそれぞれの得意分野があります。ですから、どの神様が魂を分けてくださったかによって、あなたが得意なことや好きなことは変わってきます。

たとえば、あなたの直霊が10柱の神様から魂を分けていただいたものだとしましょう。そうしたら、あなたは10通りの得意分野をもつことになります。

天命を生きるとは、この世でその直霊を使って生きること。あなたの直霊がもつ神様の得意分野を世界のために生かすことです。

直霊は、人間が転生しても変わりません。前世も、今世も、来世も、私たちは同じ直霊で生きていきます。

ところが、四魂は違うのです。生まれ変わるたびに変わります。

人間に四魂を分け与えてくれるのは、今世のあなたを守る産土神だからです。

お話してきたように、四魂はその人のセンサーとして働きます。直霊は同じでも前世と今世ではもっているセンサーが違うということになります。

違うセンサーで生きれば、当然ながら違う情報をキャッチします。だから、同じ直霊だったとしても、生まれ変われば、その人はまったく違う人生を送ることになるのです。

複雑になってきましたか？

直霊は複数の神様からもらい、数千年にわたって生きつづけます。

直霊をくれる神様は、産土神（土地神）より格上の神様たちです。この中には、格の高い龍神も含まれます。

一方、四魂は胎児の時に過ごした土地にある産土神からもらいます。

一霊四魂はセットとなって働き、人間の一生を進めていきます。

どちらも、神様から分けていただいた大切なもの。だからこそ、私たちは、一霊四魂を大切にして生き、この人生で磨きつづけなければならないのです。

「龍使い」になれる本 サンマーク出版 大杉日香理